


## 山 行 報 告 書

山行報告者：平野

山 域・山 名：西穂高岳 (2,909m)		(岐阜県)
入山日又は期間：平成 30年 3月 17日(土)～18日(日) 1泊 2日 帰宅日：3月18日		
プラン担当者 正：平野		天候 17日：晴、18日：晴
参加者	L、報：平野 後藤、小川国、HS、天野、蓑島、佐藤、山崎 男5名、女3名、計8名	
		
月 日( )	集合時間：3月17日6時30分 集合場所：大宮駅コトブキ前	
3月17日(土)	大宮駅 6:30→(4:30)→11:00 新穂高温泉口→(ロープウェイ)→西穂高口(入山) 13:45→(1:40)→15:25 西穂山荘(小屋&テント泊)	
3月18日(日)	西穂山荘 6:20→(0:15)→6:35 西穂丸山 6:40→(1:00)→7:40 西穂独標 7:50→ (1:20)→9:10 西穂高岳 9:20→(1:00)→10:20 西穂独標 10:30→(0:35)→11:05 西穂山荘 12:05→(0:37)→12:42(下山) 西穂高口 13:15→(ロープウェイ)→新穂 高温泉口→22:30 大宮	
装備 と 食糧	<b>共同装備</b> ：5テン・外張り1(会)、ツェルト4個(平・齋・小・蓑)、無線機3台(会2・平1)、ガスコンロ(2式)+ガスボンベ2個(後・小)、共同食用コップ2個(平)、お玉1個(平)、新聞紙(齋)、8mmφ×40mロープ2本(会)、雪用スコップ(平)、後藤さん歓迎ワイン(蓑) <b>共同食</b> ：(テント泊)17日夕食(平) <b>車提供者</b> ：平野、蓑島 <b>個人装備</b> ：(テ・小-共通)ヘッドランプ、防寒衣、コンパス、地図、テルモス、ストック、アイゼン、ピッケル、ヘルメット、防寒手袋、スパッツ、ゴーグル、目出帽、わかん、ハーネス、セルフビレイセット(デージーチェーン等+環付カラビナ)、環付カラビナ、60cm シュリング、ブルージックロープ、GPS、食器、コップ、お酒、酒肴、日焼け止め (テント泊)寝袋、寝袋カバー、テントマット、水2ℓ <b>個人食</b> ：(テ・小-共通)17日(昼食、行動食)、18日(朝食、昼食、行動食)、非常食(1日分)	
感想 & 要注意事	17日、18日とも晴天であった。18日は、稜線に出ると真直ぐに歩けないくらいの強風が吹いていて西穂高岳への登高が危ぶまれたが、強風は西穂丸山を過ぎたあたりから弱まり、快適な登山となった。西穂独標は、雪の着いた1本の登山道を、登ろうとする登山者とツアー客のような下山する団体とで渋滞していた。埒があきそうになかったため、仕方なく登山道脇の岩場を登って独標に出た。ツアー団体登山に出会う度に感じるのだが、ツアーに参加する登山者の登山マナーの無さと、それを引率するガイドの他の登山者に対する配慮の無さをつくづく感じる。独標から先は、団体客も居ず、安全のため下りの2か所でロープを出し西穂高岳に登ることが出来た。(平野)	